

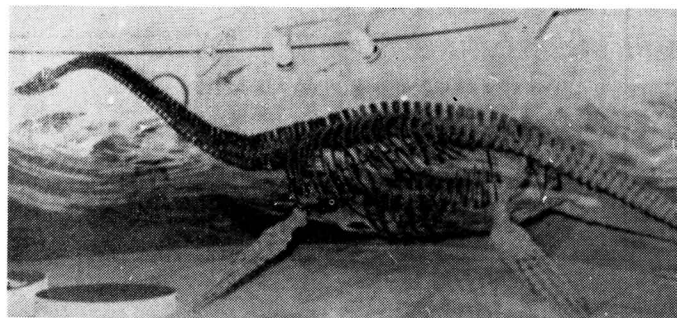
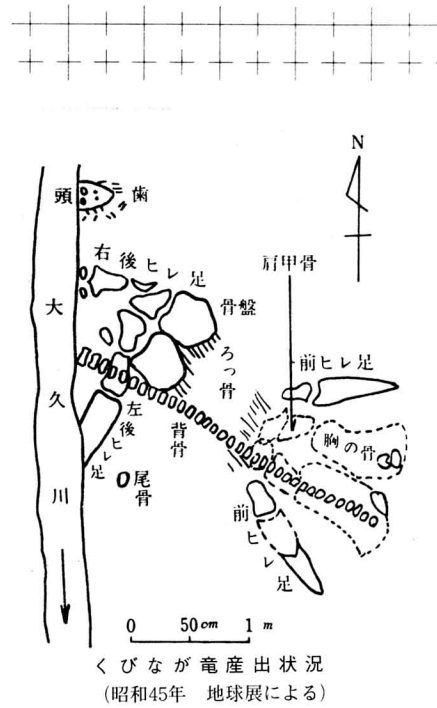
#### 4. くびなが竜の発見

昭和43年10月6日、当時平工業高校2年生の鈴木直君によって、いわき市大久町入間沢の橋より数百m上流の地点で発見されました。

中生代は別名、は虫類時代とも呼ばれており、特に白亜紀の頃は、進化し大型化していました。

スズキクビナガリュウは産状復原され、現在、国立科学博物館の1号館、中央ホールに展示されています。

一方、いわき市文化センターには実物大で、おおよそ6m 50cm 大の骨格復原模型が展示されています。



フタバスズキリュウの骨格模型